

2018年(平成30年)3月期 決算説明会



2018年 5月21日
株式会社 小森コーポレーション

1. 平成30年3月期の業績および次期計画(P3～36)

取締役管理本部長 松野 浩一

2. 経営概況について(P37～51)

代表取締役社長 持田 訓

2018年(平成30年)3月期の業績および次期計画



2018年 5月21日

株式会社 小森コーポレーション

目次

- P.5~ 7 決算概要 P/L・B/S・C/F
- P.8 売上高・損益の推移
- P.9~12 地域別・品目別 受注高
- P.13~16 地域別・品目別 売上高
- P.17 受注残高の推移
- P.18 製品在庫の推移
- P.19 営業損益の変動要因
- P.20~25 業績見通し
- P.26 設備投資・減価償却費・開発費
- P.27~36 地域別 受注高・売上高 詳細

決算概要 P/L

(単位:億円)

		当期実績 2018/3	前期実績 2017/3	差額	前期比	通期計画 2018/3	差額	計画比
受注高		884	896	△12	99%	900	△16	98%
売上高		942	866	76	109%	940	2	100%
営業利益		37	17	20	218%	19	18	196%
経常利益		44	14	30	309%	23	21	192%
親会社株主に帰属する 当期純利益		31	7	24	468%	19	12	162%
平均レート(円)	US\$	110.81	109.18	/	/	110.24	/	/
	EUR	129.45	119.54			127.76		
期末レート(円)	US\$	106.24	112.19			105.00		
	EUR	130.52	119.79			125.00		

主な資産・負債

(単位:億円)

	当期末 2018.3.31	前期末 2017.3.31	差額
現金・預金	431	407	24
売上債権	266	221	45
有価証券	207	187	20
棚卸資産	278	316	△38
うち製品	118	156	△38
有形固定資産	328	338	△10
無形固定資産	21	25	△4
仕入債務	189	176	12
短期借入金	2	0	2
社債	100	100	0
長期借入金	0	0	0
株主資本	1,302	1,294	7
総資産	1,825	1,801	24

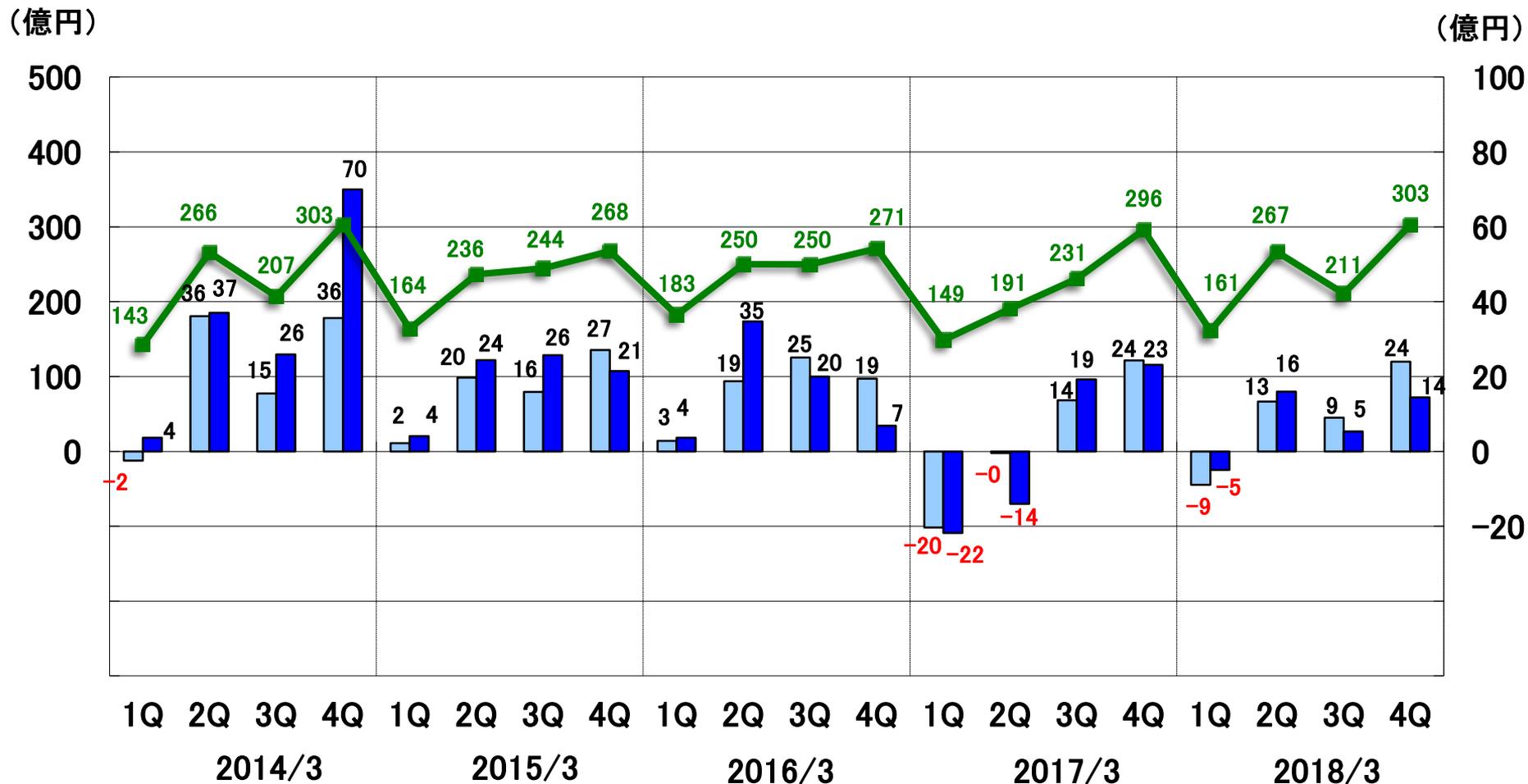
キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	当期 2018/3	前期 2017/3	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	61	△ 8	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	3	43	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 23	△ 77	53
現金及び現金同等物の期末残高	588	547	42

売上高・損益の推移

■ 売上高(左目盛)
 ■ 営業利益(右目盛)
 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(右目盛)

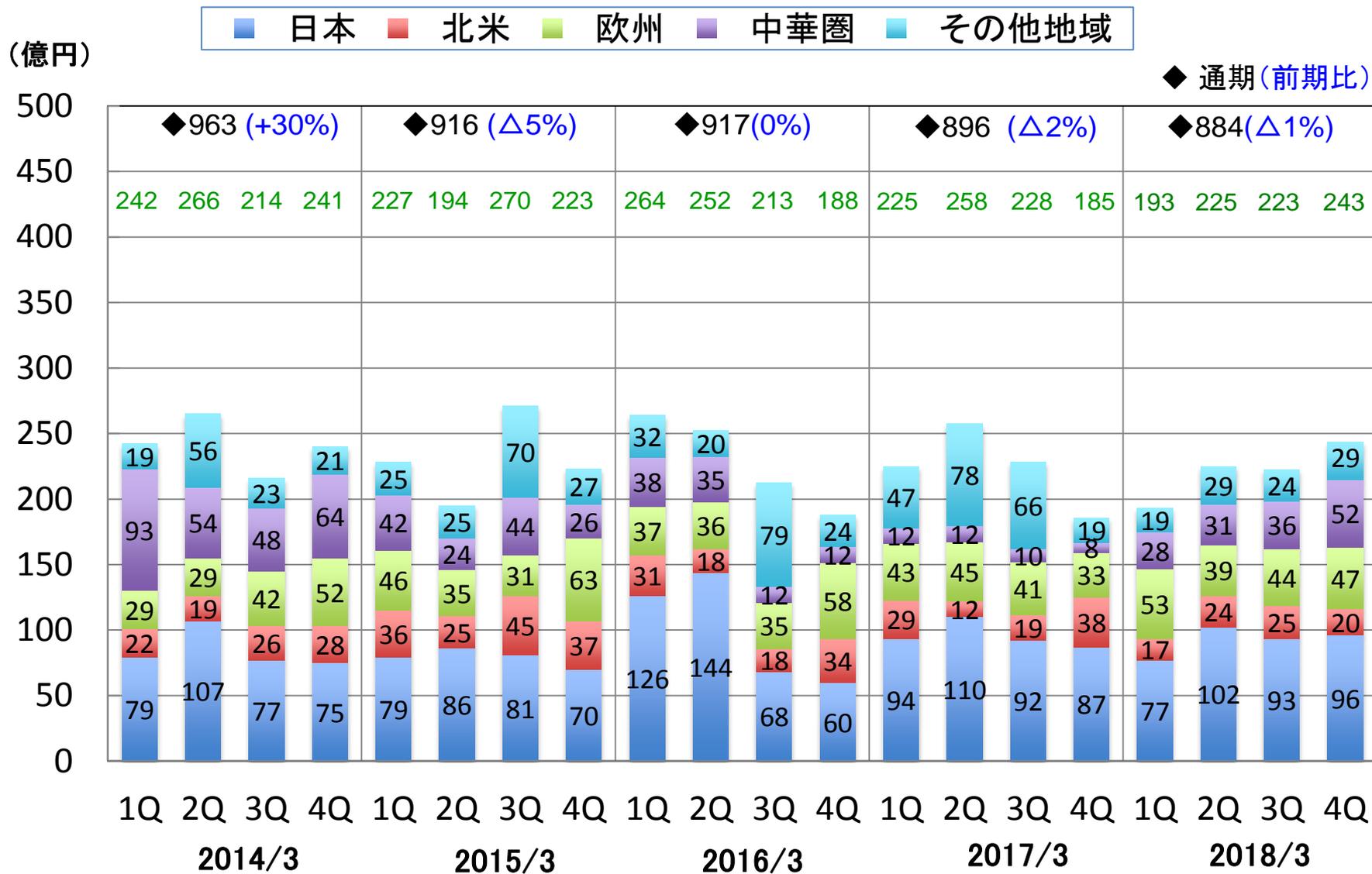


地域別受注高

(単位：億円)

	当期実績 2018/3	前期実績 2017/3	前期比	通期計画 2018/3	計画比
日 本	368	383	96%	378	97%
北 米	85	99	87%	95	90%
(百万ドル)	(77)	(90)	(85%)	(86)	(90%)
欧 州	183	163	112%	175	105%
(百万ユーロ)	(141)	(136)	(104%)	(137)	(103%)
中 華 圏	147	42	350%	124	119%
そ の 他 地 域	100	210	48%	128	78%
合 計	884	896	99%	900	98%

地域別受注高



品目別受注高

(単位：億円)

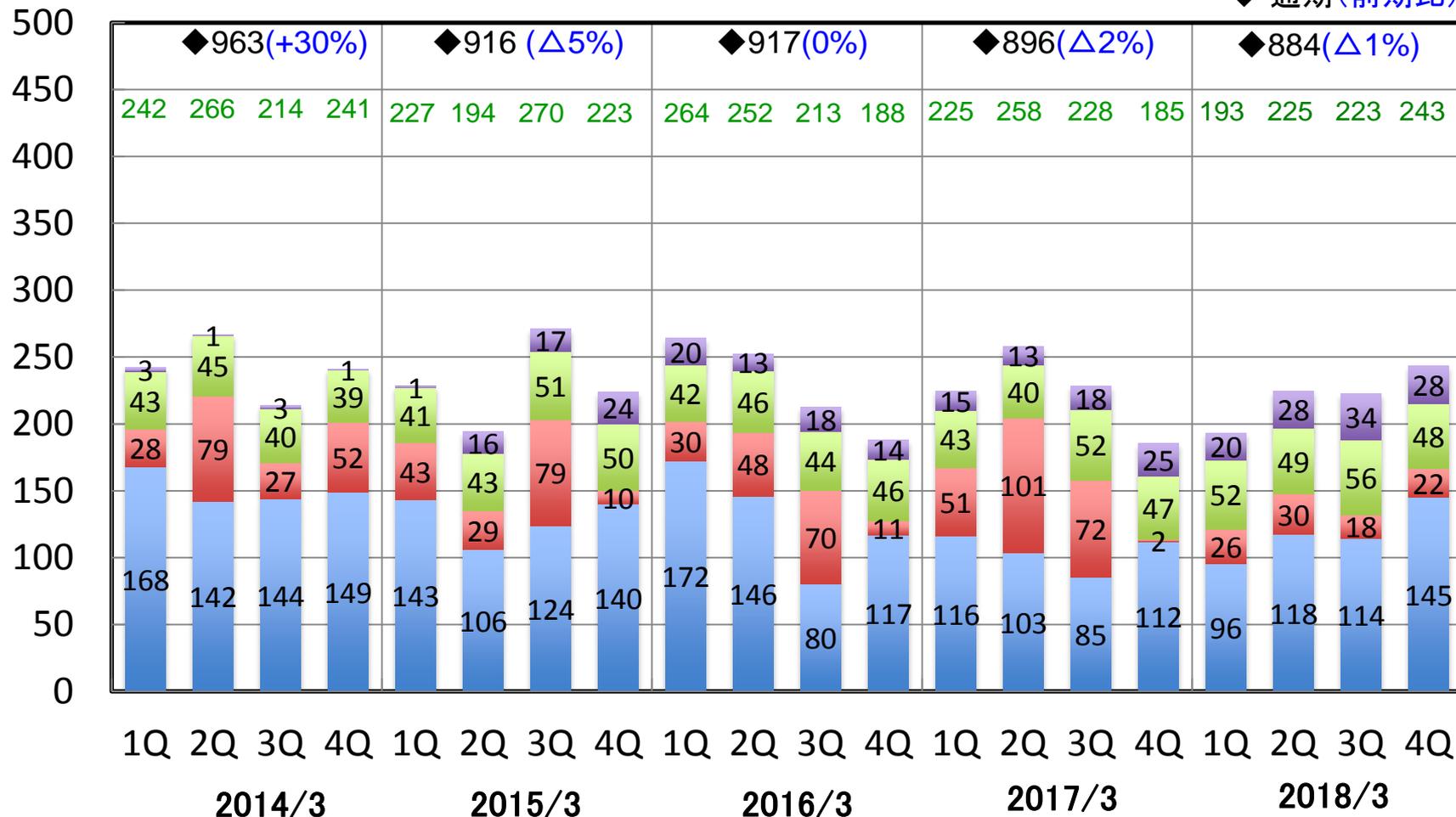
	当期実績 2018/3	前期実績 2017/3	前期比	通期計画 2018/3	計画比
枚 葉 機	472	417	113%	447	106%
輪転機・証券印刷機	95	226	42%	121	79%
中古・部品修理	205	182	113%	207	99%
DPS・PE・その他	111	71	157%	126	88%
合 計	884	896	99%	900	98%

品目別受注高

■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

(億円)

◆ 通期(前期比)

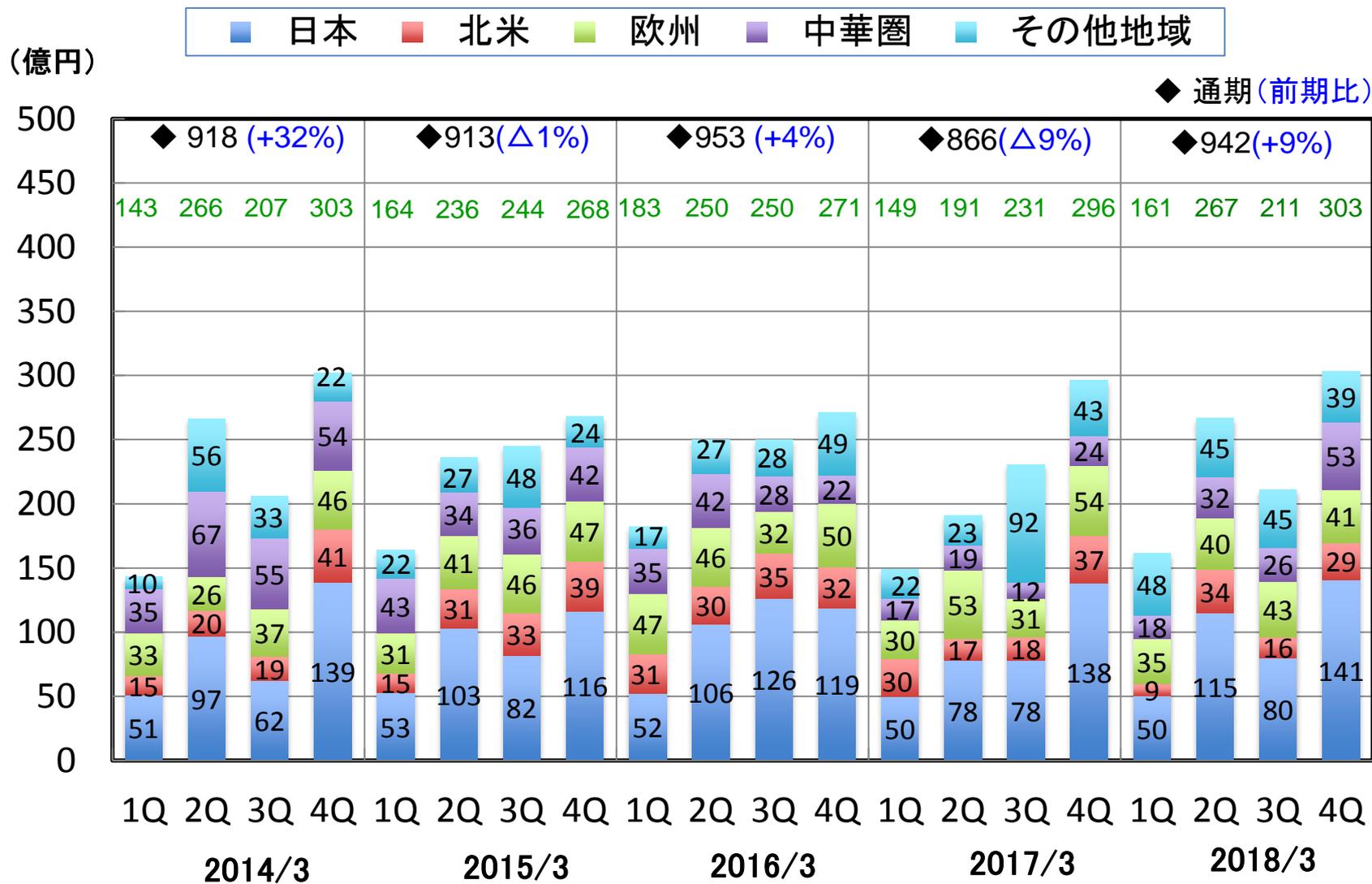


地域別売上高

(単位：億円)

	当期実績 2018/3	前期実績 2017/3	前期比	通期計画 2018/3	計画比	
日 本	386	344	112%	406	95%	
北 米	89	101	88%	89	100%	
	(百万ドル)	(80)	(93)	(86%)	(82)	(97%)
欧 州	160	168	95%	156	103%	
	(百万ユーロ)	(124)	(141)	(88%)	(124)	(100%)
中 華 圏	129	72	179%	104	124%	
そ の 他 地 域	178	181	98%	185	96%	
合 計	942	866	109%	940	100%	

地域別売上高



品目別売上高

(単位：億円)

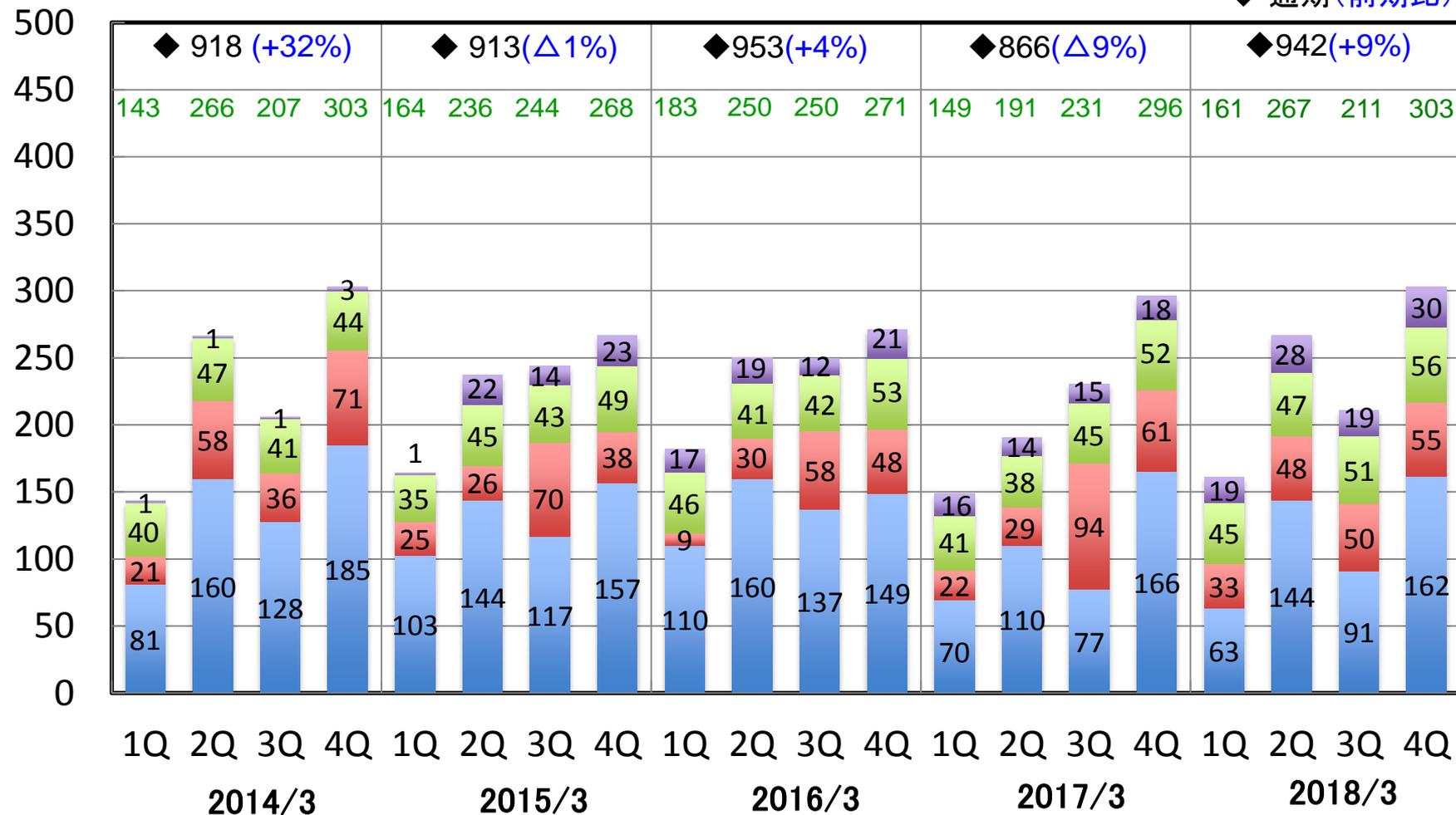
	当期実績 2018/3	前期実績 2017/3	前期比	通期計画 2018/3	計画比
枚 葉 機	461	423	109%	455	101%
輪転機・証券印刷機	186	205	91%	179	104%
中古・部品修理	199	176	113%	199	100%
DPS・PE・その他	96	62	154%	106	91%
合 計	942	866	109%	940	100%

品目別売上高

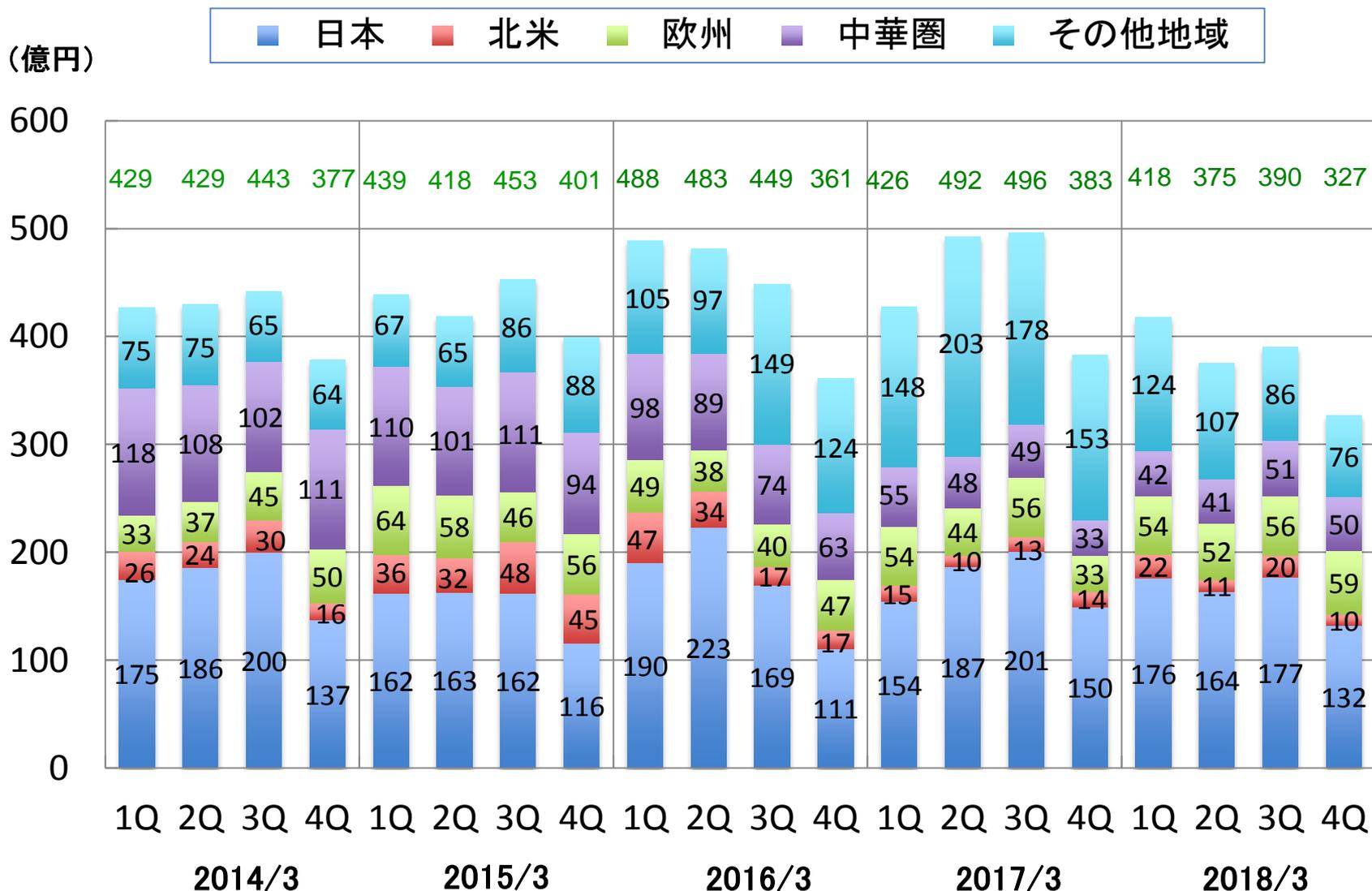
■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

(億円)

◆ 通期(前期比)

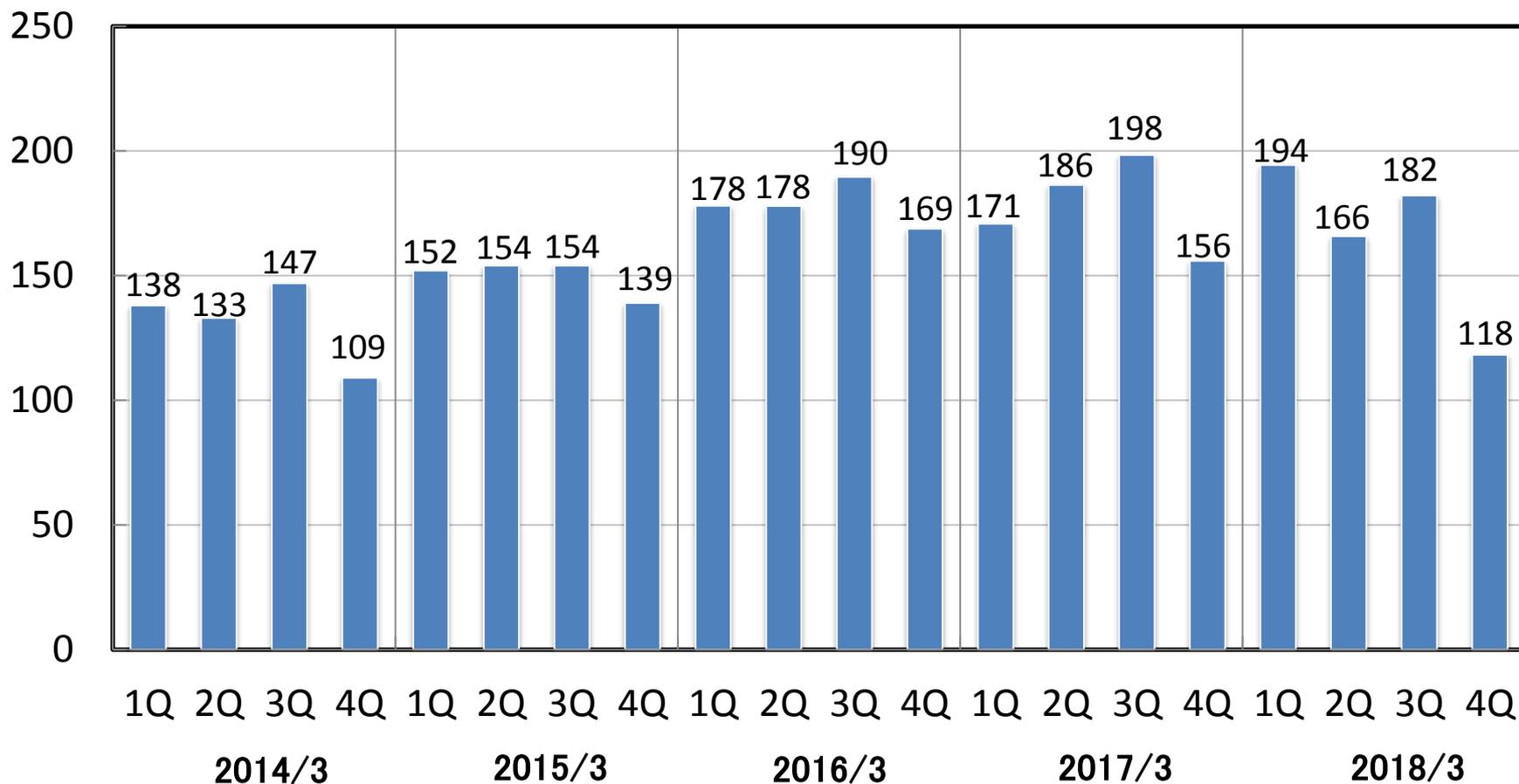


受注残高の推移



製品在庫の推移(原価ベース)

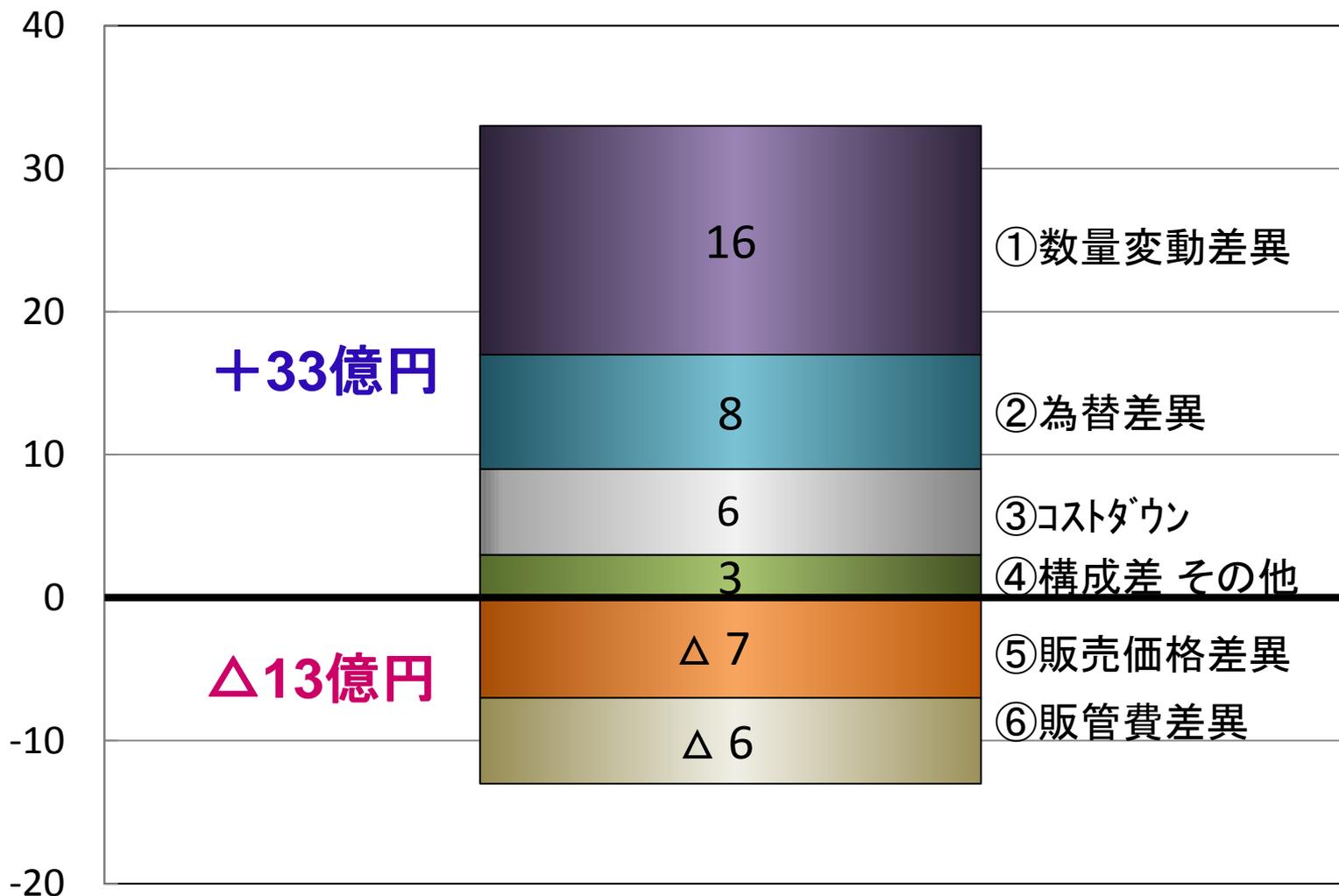
(億円)



営業損益の変動要因(対 前期比)

(億円)

合計 +20億円



業績見通し

(単位:億円)

	2019/3上期		2019/3下期		通期計画 2019/3	前期実績 2018/3	差額	前期比	
	計画	前期比	計画	前期比					
受注高	515	123%	495	106%	1,010	884	126	114%	
売上高	490	115%	520	101%	1,010	942	68	107%	
営業利益	3	69%	28	85%	31	37	△ 6	83%	
経常利益	3	24%	29	92%	32	44	△ 12	72%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2	18%	25	127%	27	31	△ 4	88%	
平均レート(円)	US\$	105.00	/	105.00	/	105.00	110.81	/	/
	EUR	125.00		125.00		125.00	129.45		
期末レート(円)	US\$	105.00	/	105.00	/	105.00	106.24	/	/
	EUR	125.00		125.00		125.00	130.52		

地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2019/3上期		2019/3下期		通期計画 2019/3	前期実績 2018/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
日 本	217	121%	243	128%	460	368	92	125%
北 米	40	100%	56	125%	97	85	11	113%
(百万ドル)	(38)	(107%)	(54)	(131%)	(92)	(77)	(15)	(120%)
欧 州	69	74%	72	80%	141	183	△42	77%
(百万ユーロ)	(55)	(75%)	(58)	(85%)	(113)	(141)	(△28)	(80%)
中 華 圏	96	163%	60	68%	156	147	9	106%
そ の 他 地 域	93	196%	63	120%	156	100	56	156%
合 計	515	123%	495	106%	1,010	884	126	114%

品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2019/3上期		2019/3下期		通期計画 2019/3	前期実績 2018/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
枚 葉 機	253	119%	251	97%	504	472	32	107%
輪転機・証券印刷機	90	161%	52	131%	142	95	46	149%
中古・部品修理	98	97%	109	105%	208	205	2	101%
DPS・PE・その他	74	153%	83	132%	157	111	45	141%
合 計	515	123%	495	106%	1,010	884	126	114%

地域別売上高 予想

(単位:億円)

	2019/3上期		2019/3下期		通期計画 2019/3	前期実績 2018/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
日 本	194	118%	211	96%	405	386	20	105%
北 米	38	89%	63	138%	101	89	12	114%
(百万ドル)	(36)	(94%)	(60)	(145%)	(96)	(80)	(16)	(120%)
欧 州	80	106%	71	84%	152	160	△9	95%
(百万ユーロ)	(64)	(107%)	(57)	(89%)	(121)	(124)	(△2)	(98%)
中 華 圏	96	191%	74	94%	170	129	41	132%
そ の 他 地 域	81	86%	101	120%	182	178	4	102%
合 計	490	115%	520	101%	1,010	942	68	107%

品目別売上高 予想

(単位:億円)

	2019/3上期		2019/3下期		通期計画 2019/3	前期実績 2018/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
枚 葉 機	267	129%	236	93%	503	461	42	109%
輪転機・証券印刷機	57	70%	97	92%	153	186	△33	82%
中古・部品修理	96	104%	107	101%	203	199	4	102%
DPS・PE・その他	70	150%	81	164%	151	96	55	157%
合 計	490	115%	520	101%	1,010	942	68	107%

2019/3月期営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)

(億円)

合計 $\Delta 6$ 億円

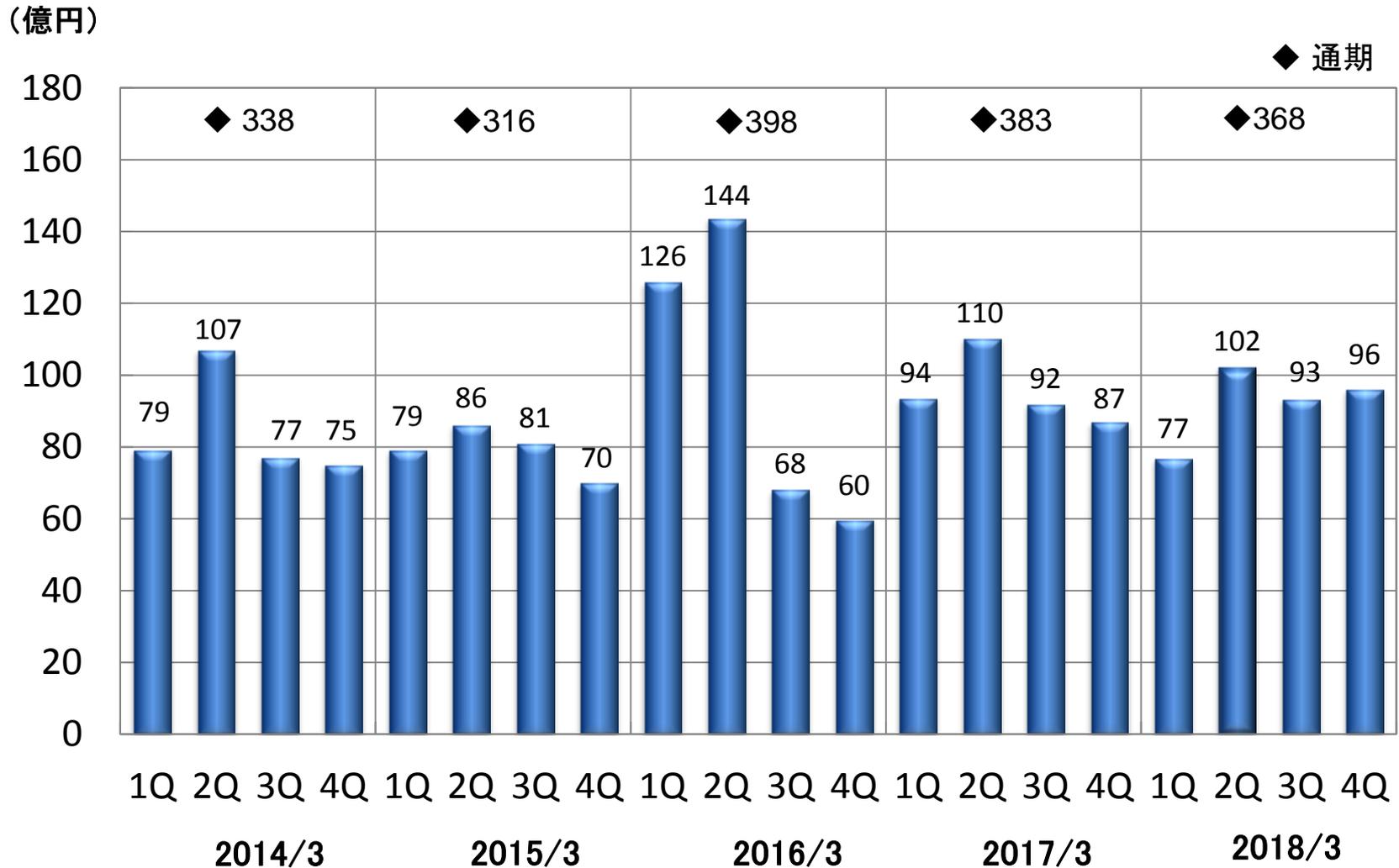


設備投資・減価償却費・開発費

(単位:百万円)

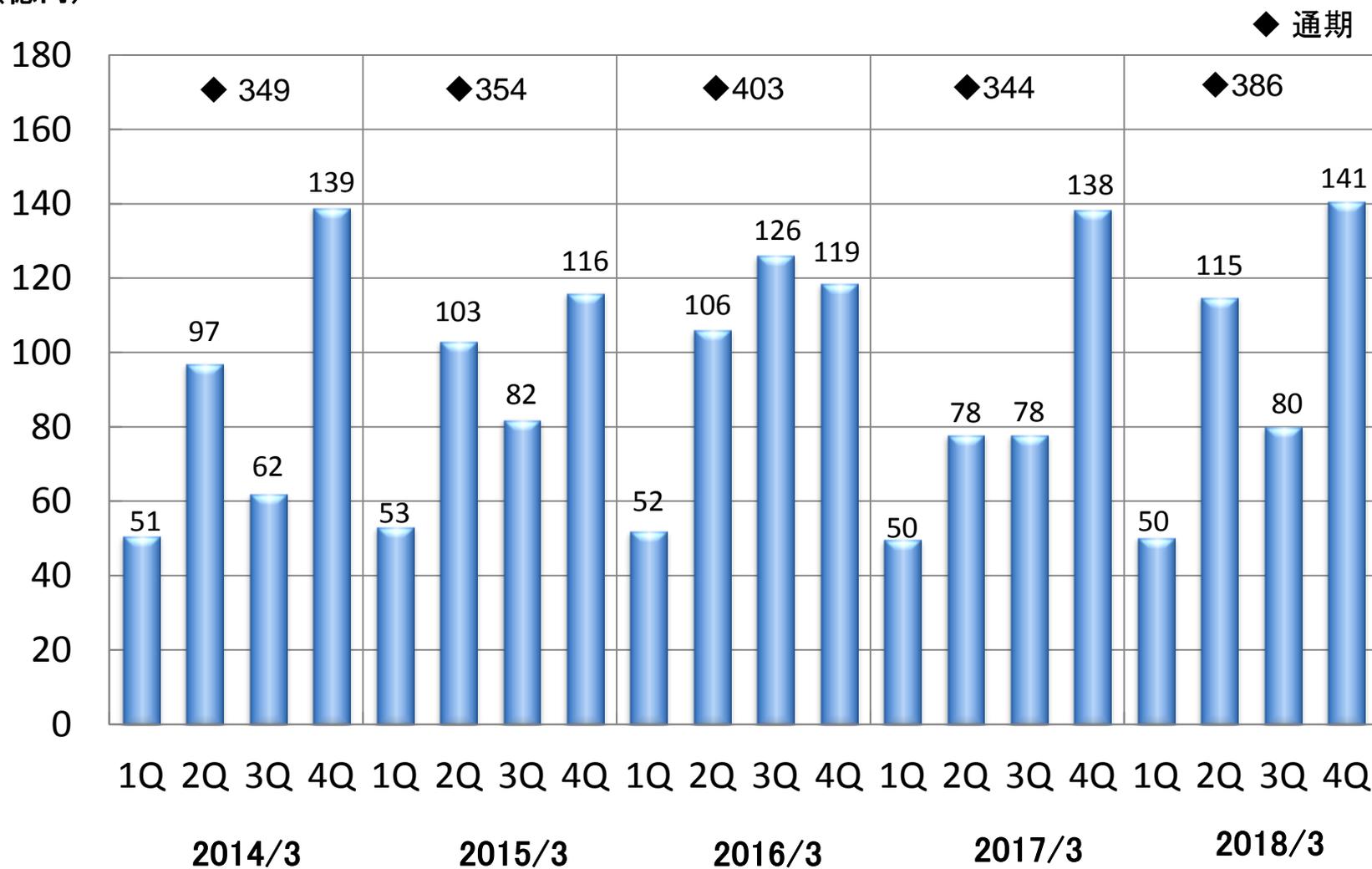
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3 予想
従業員数(名)	1,784	2,106	2,189	2,195	2,227	2,260
人件費	16,972	19,796	20,495	20,317	20,245	20,300
設備投資額	1,367	2,116	3,126	1,455	1,201	2,340
減価償却費	2,172	1,860	2,027	2,133	1,889	2,070
研究開発費	4,184	5,123	4,975	4,885	4,785	4,620
(売上高比)	(4.6%)	(5.6%)	(5.2%)	(5.6%)	(5.1%)	(4.6%)

日本 受注高



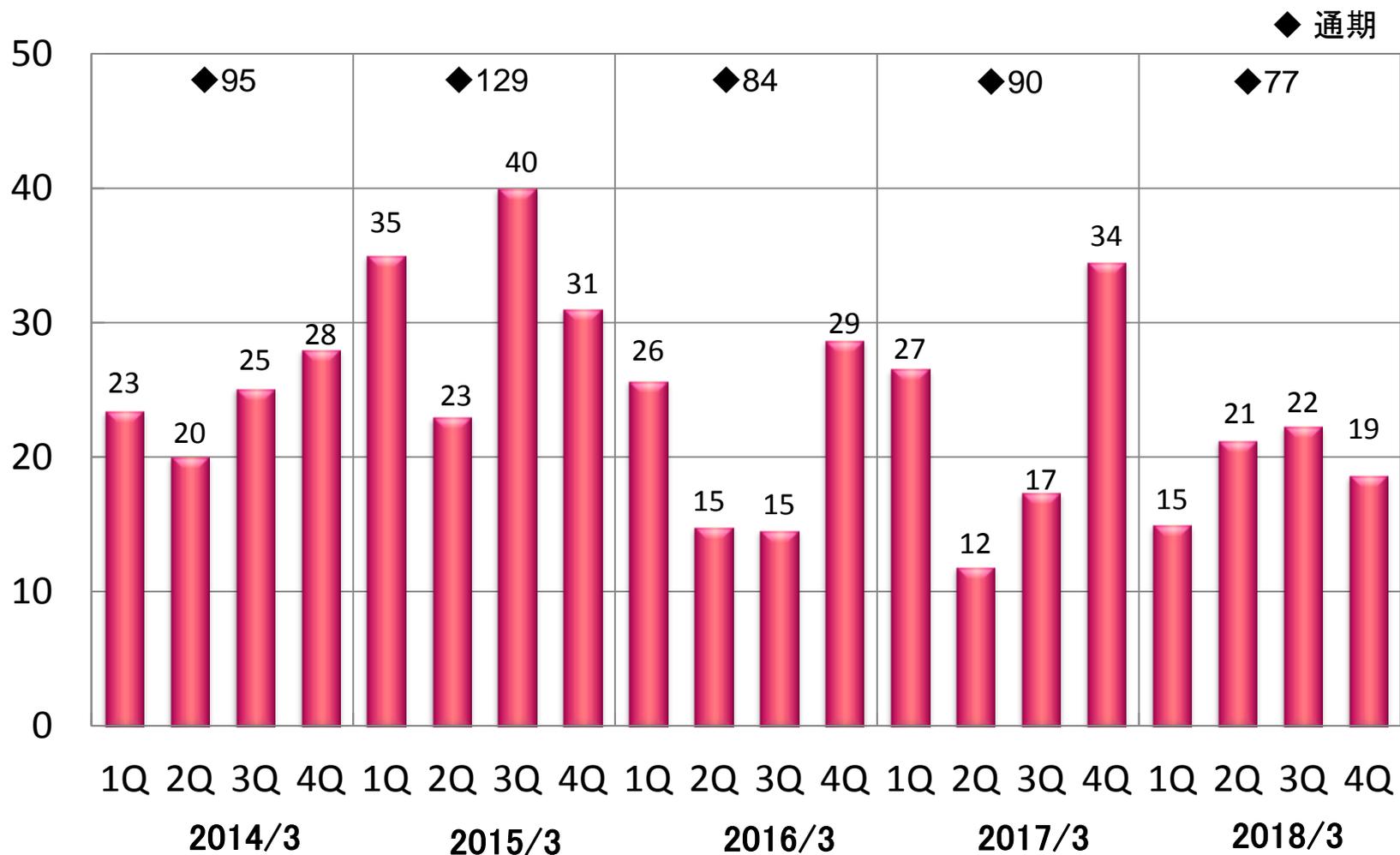
日本売上高

(億円)



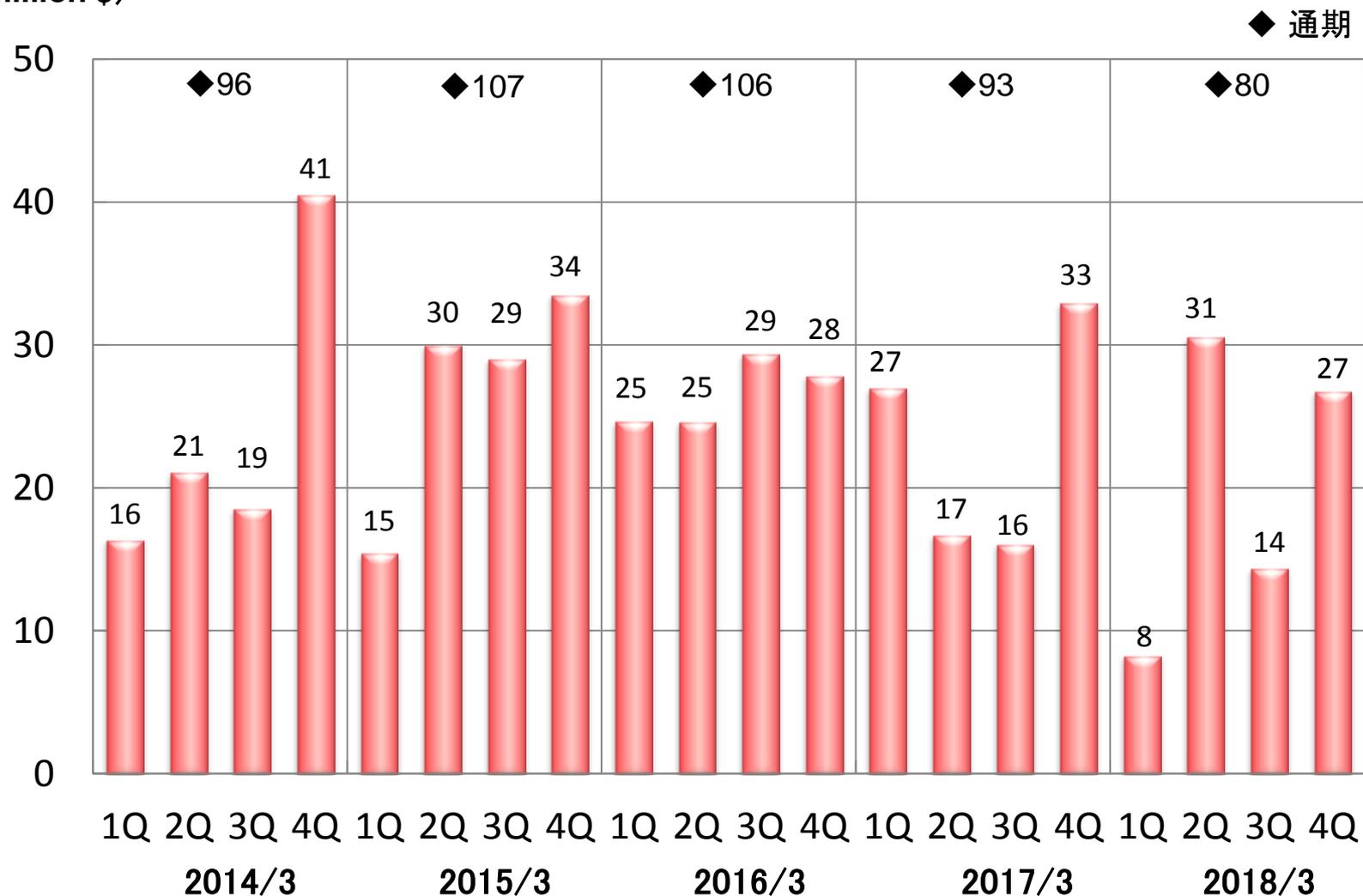
北米 受注高

(million \$)



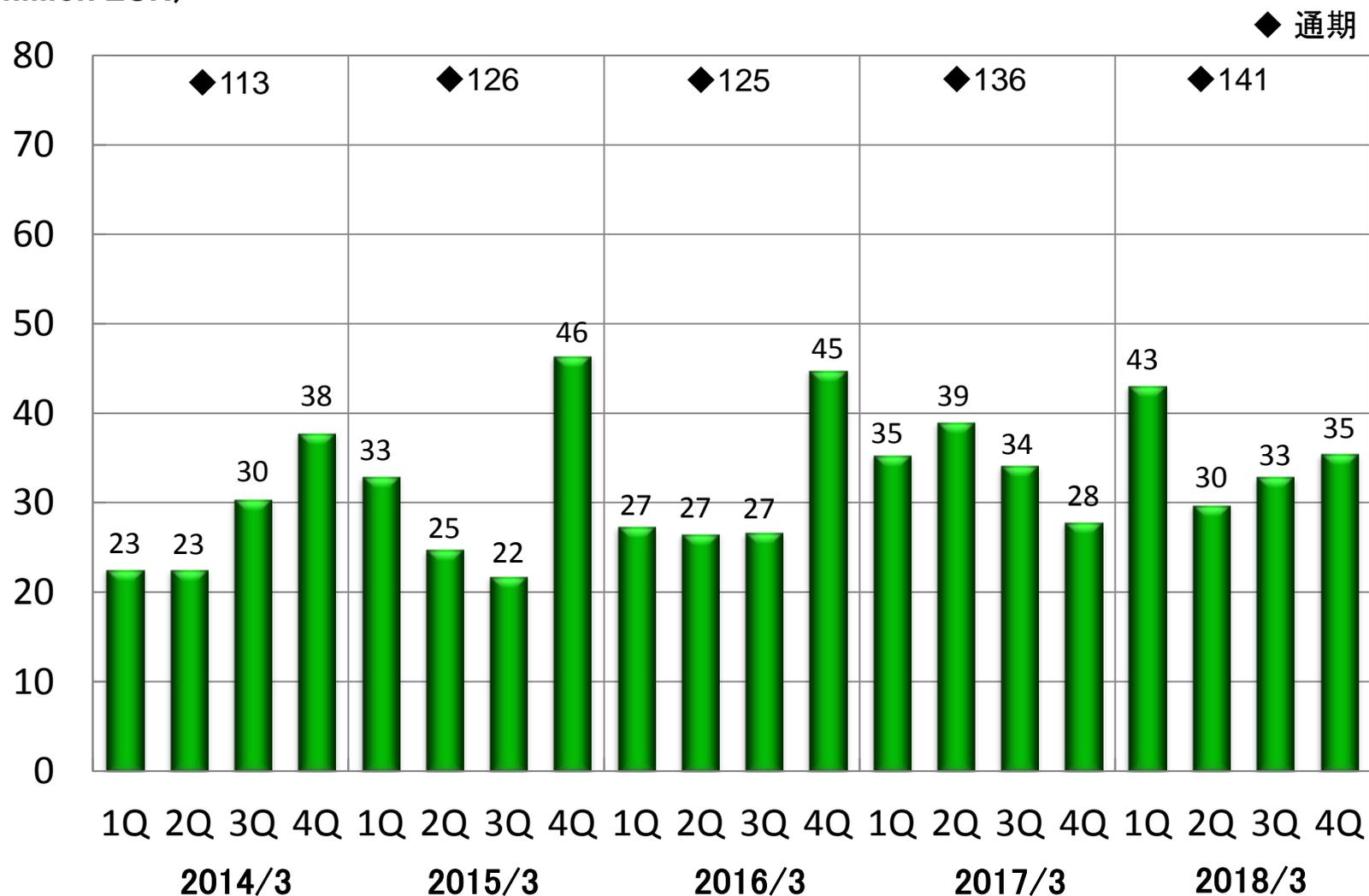
北米売上高

(million \$)



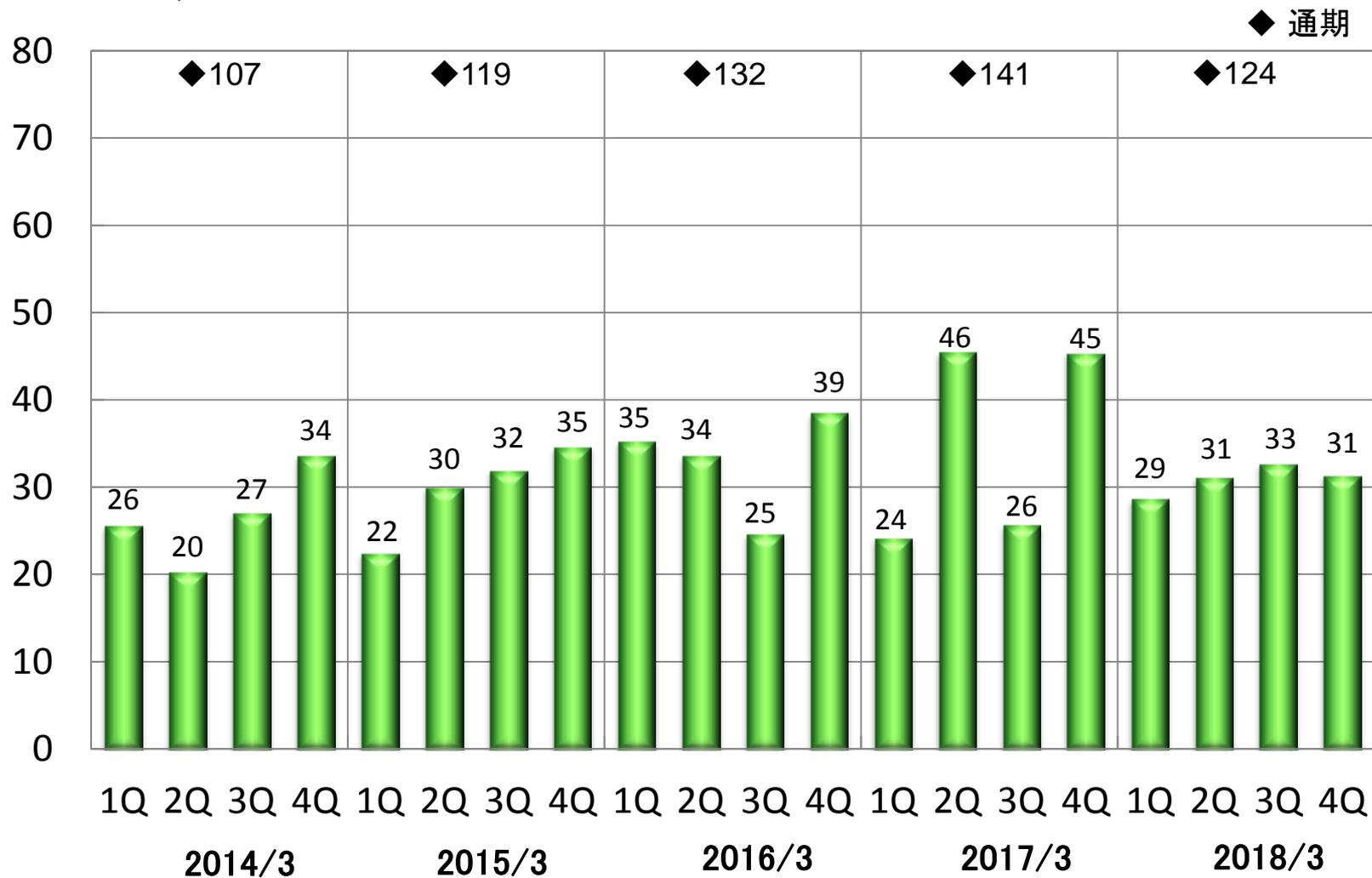
欧州 受注高

(million EUR)



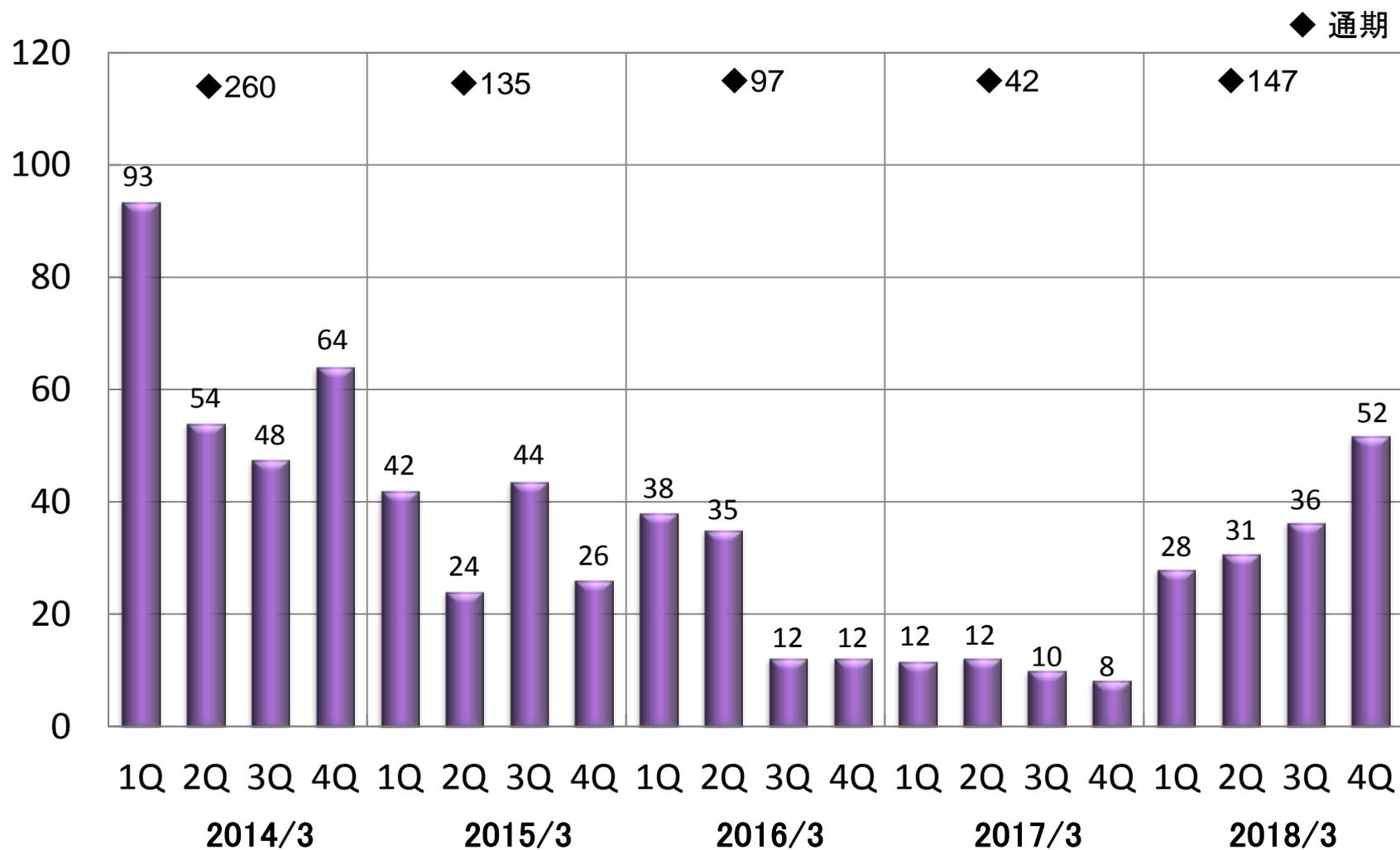
欧州 売上高

(million EUR)



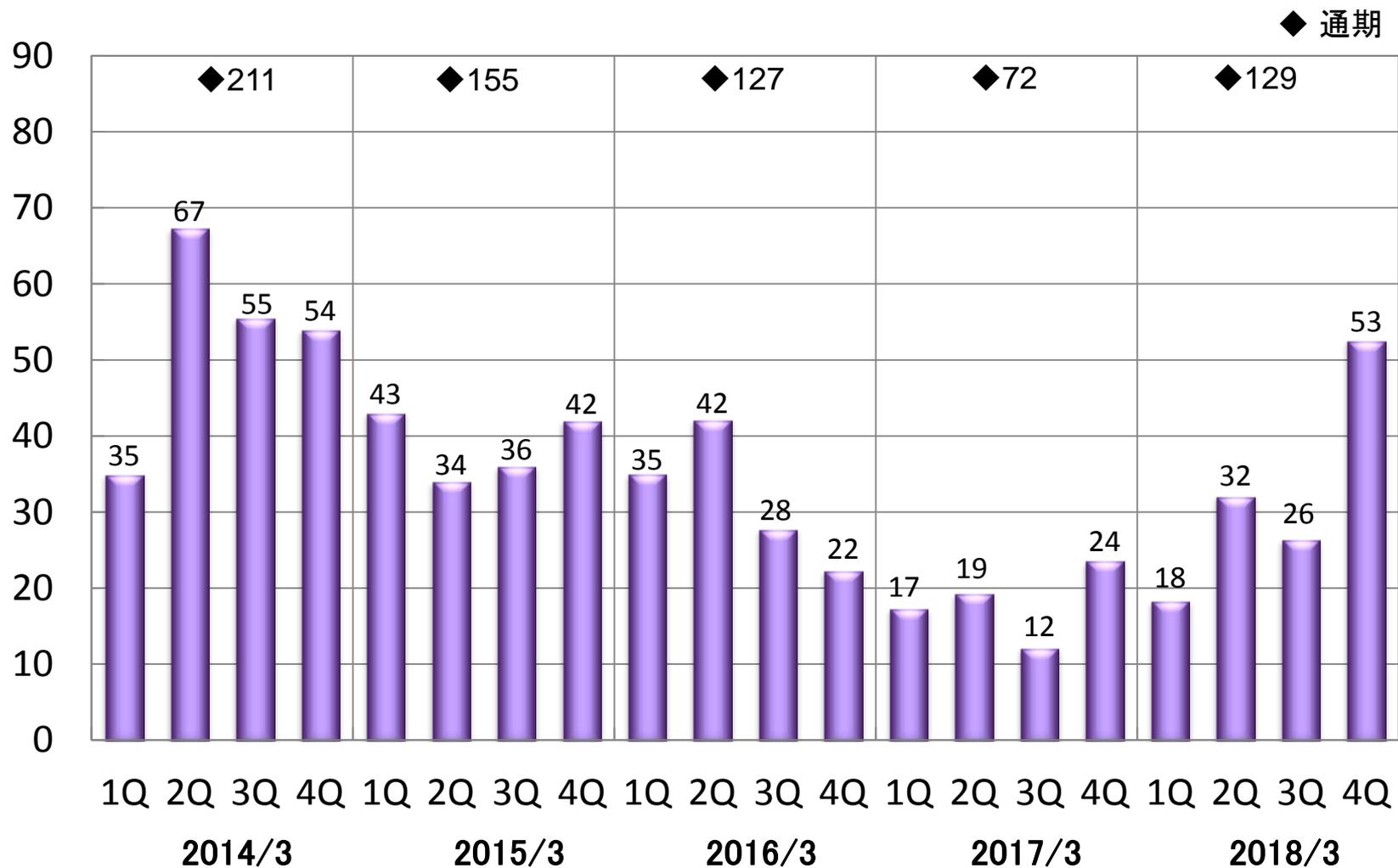
中華圏 受注高

(億円)



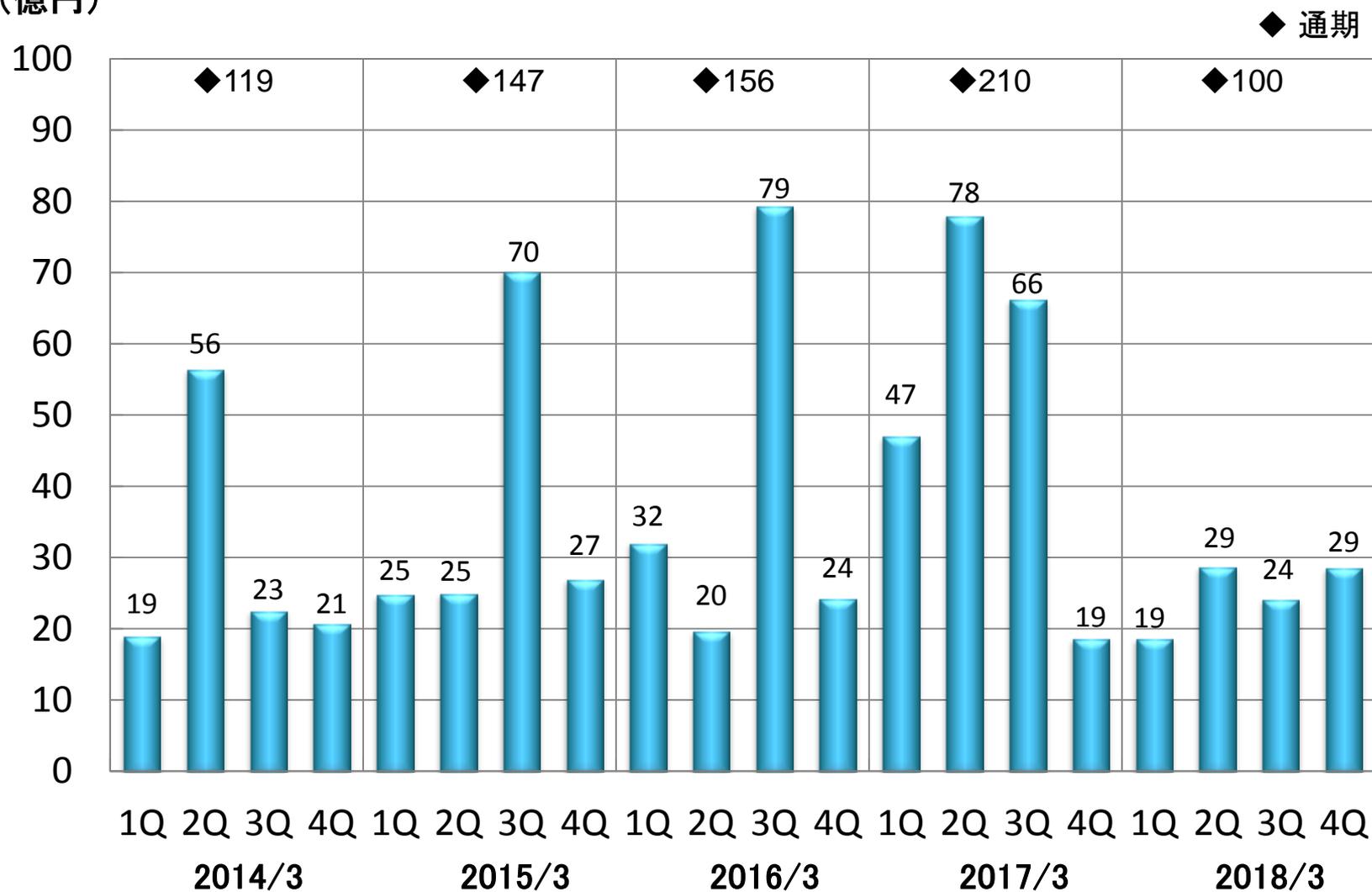
中華圏売上高

(億円)



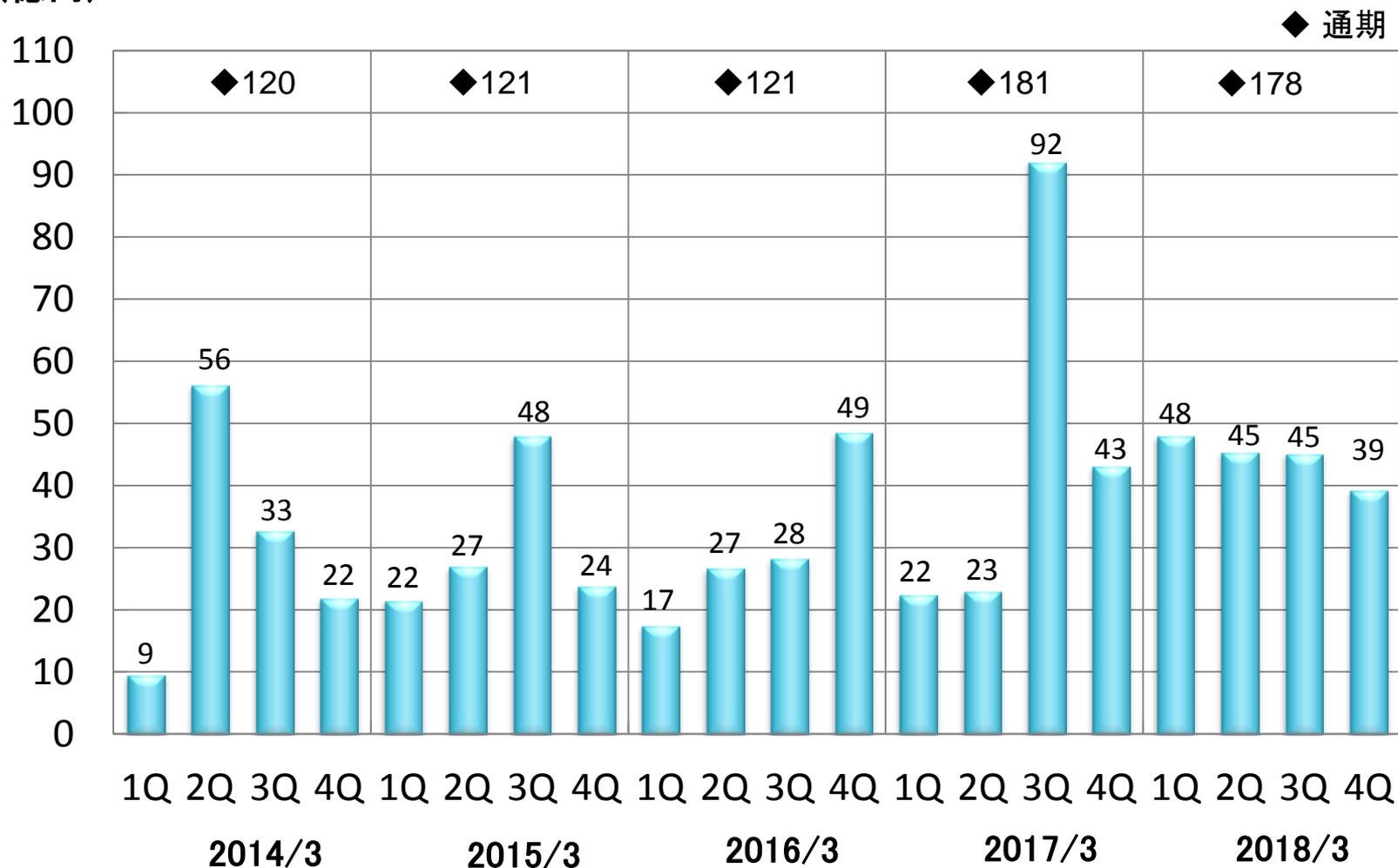
その他地域 受注高

(億円)



その他地域 売上高

(億円)



経営概況



2018年5月21日
株式会社小森コーポレーション

決算概要 P/L

(単位:億円)

		当期実績 2018/3	前期実績 2017/3	差額	前期比	通期計画 2018/3	差額	計画比
受注高		884	896	△12	99%	900	△16	98%
売上高		942	866	76	109%	940	2	100%
営業利益		37	17	20	218%	19	18	196%
経常利益		44	14	30	309%	23	21	192%
親会社株主に帰属する 当期純利益		31	7	24	468%	19	12	162%
平均レート(円)	US\$	110.81	109.18	/	/	110.24	/	/
	EUR	129.45	119.54			127.76		
期末レート(円)	US\$	106.24	112.19			105.00		
	EUR	130.52	119.79			125.00		

2018年3月期 計画達成状況

受注高

900 / 884

計画比：98%
前期比：99%

(億円)

1000

900

800

700

600

500

400

300

200

100

0

計画

実績

計画

実績

中華圏

欧州

北米

日本

PE

その他

北米

日本

計画

実績

940 / 942

計画比：100%
前期比：109%

1000

900

800

700

600

500

400

300

200

100

0

PE

その他

北米

日本

計画

実績

PE

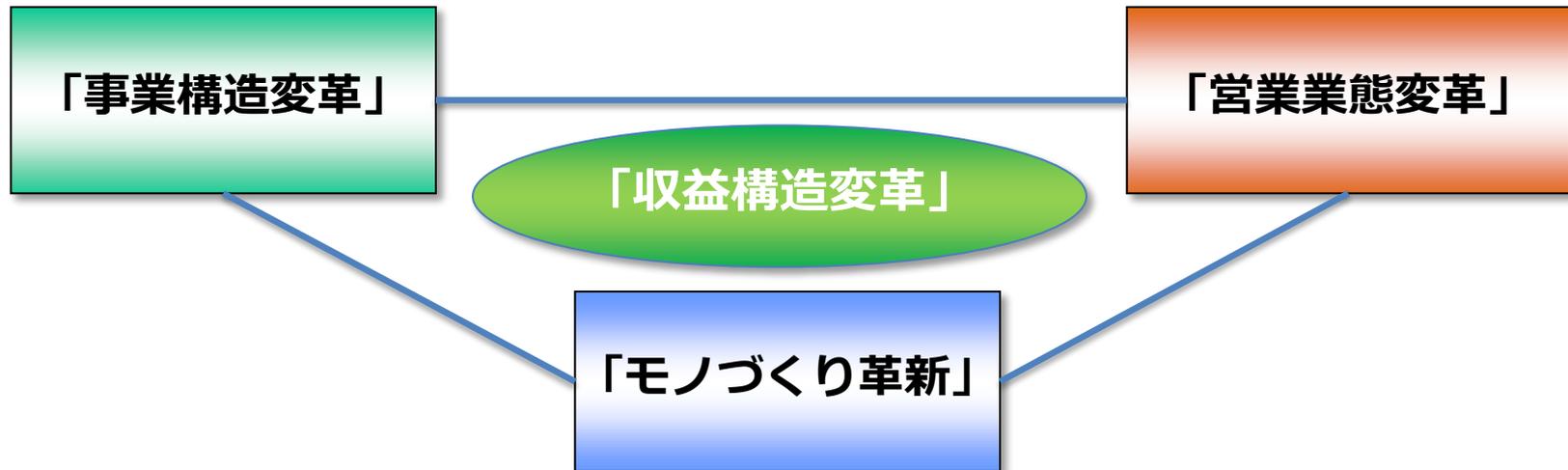
その他

北米

日本

	計画との差異	主要要因 
日本	△2	<ul style="list-style-type: none"> ・枚葉機は補助金の買い控えの影響、大型機の受注遅延等から計画未達。 ・新規事業（DPS、PESP）の計画遅延
	△19	
北米	△9 (△9)	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は全般的に慎重なまま推移。 ・高付加価値機、ワンパス大型機、DPS機、等の需要は底堅い。
	0 (△2)	
欧州	+8 (+4)	<ul style="list-style-type: none"> ・英国がEU離脱問題の不透明さから低迷するもその他主要国は堅調。 ・助成金などの支援を受けて東欧、北+中欧諸国からの受注が増加
	+4 (0)	
中華圏	+23	<ul style="list-style-type: none"> ・景況向上、北京展効果、等により計画を達成した。 ・大手を中心に自動化、省力化、パッケージ機を中心とした高付加価値機が好調
	+25	
その他	△28	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの高額紙幣の廃止、GST導入の混乱、等の影響で計画未達。 ・証印売上は、出荷検収が順調に推移。受注は大型商談の遅延により計画未達。
	△7	
PE	△8	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品業界の活況を受け夏場以降受注回復。海外販売の目標未達。
	△1	
全社	△16	上段：受注 下段：売上 単位：億円（ ）：現地通貨m\$、m€
	+2	

第5次中期経営計画 ～変革“Planned Change”の完遂～ (2016/04～2019/03)



重点戦略

- ソリューション営業、**PESP事業拡大**
(ICTシステム展開、資材・機材・保守等のPESP商品の拡販)
- **DPS事業**のビジネスモデル構築・事業化 (オフセットとデジタルの融合)
- モノづくりの抜本的な変革 (**生産方式の変革、新3工場体制構築**)
- 事業間のシナジー効果創出による差別化強化
- 新人事制度の定着、体系的な人財育成、海外人財の活用
- 間接業務の効率化・SGA20
- 財務戦略・M&Aの具体化

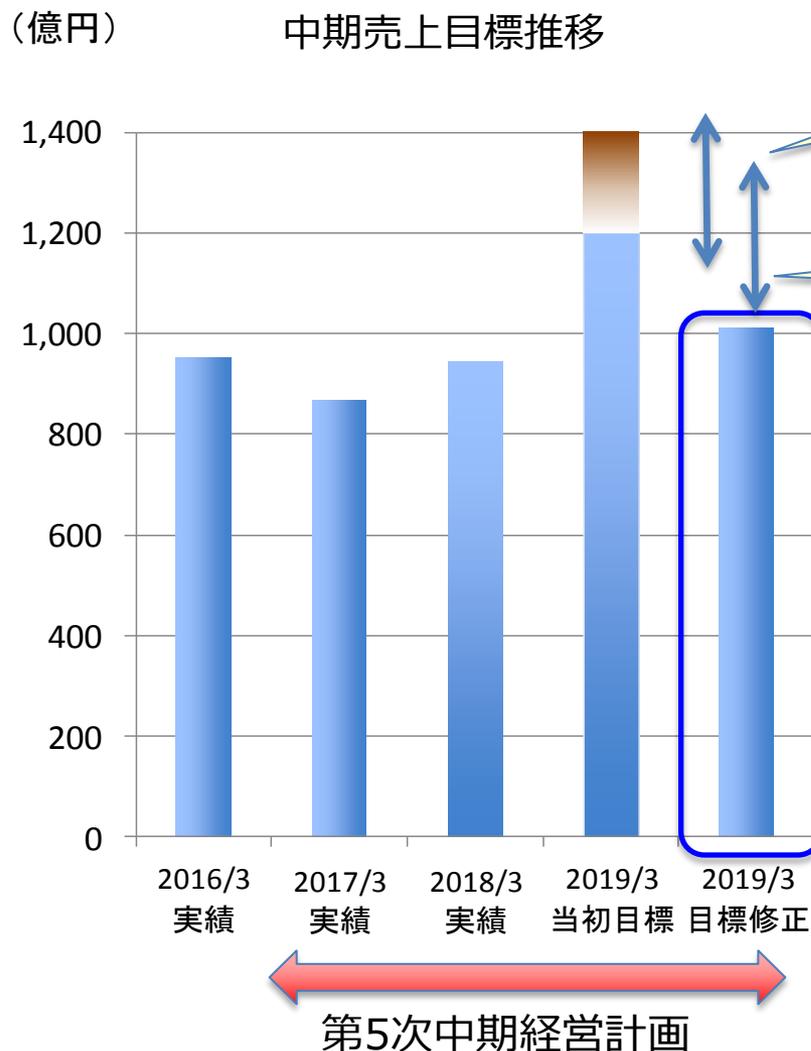
企業価値のさらなる向上と持続的な事業成長の実現

第5次中期経営目標の進捗（計画遅延）

主な未達（計画遅延）の理由

1、オフセット販売/DPS販売の目標未達

2、成長戦略（M&A等）の目標未実現



成長戦略(M&A等社外活用)の実行

事業・収益構造変革(内部成長)

2019/3	当初計画	⇒	計画
売上	1,400億円	→	1,010億円
営業利益	125億円	→	31億円

目標未達(計画遅延)の概要

(基本戦略と戦術の大きな変更はない)

- ①既存事業の販売未達(主に中華圏及びインド等の販売の未達) 証券印刷、PE等予定通り。PESP事業はDPS販売未達の影響が大きい。
- ②営業利益の未達(販売未達、販管費増、為替等外部要因、競争/売上構成による収益低下等の影響)
- ③成長戦略(M&A等社外活用)の未実現
PE事業、海外拠点等の拡大は実行したが継続中。

第5次中期経営計画サマリーの進捗状況

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期(最終年度)
既存事業 (オフセット印刷機事業の収益強化)	<ul style="list-style-type: none"> ・ drupa2016展示会の成功と拡販 ・ アジア/ASEAN地域の販売体制構築 ・ H-UVの拡販(全世界販売実績800台突破) ・ パッケージソリューションの実行機戦略機の開発(GLX40/44RP) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ China Print2017展示会の成功と拡販 ・ パッケージソリューションの販売強化(UV/H-U戦略機種、販売強化) ・ 重点市場対策の実行(日本、中国・インド・ASEAN地域の商品、販売力強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ IGASキャンペーンの全世界展開展示会の成功と拡販 ・ パッケージソリューション拡販(アジア、インド市場拡大) ・ 重点市場対策の実行(日本、中国、インド・ASEAN地域の販売チャンネル強化)
事業構造改革 (新規事業収益化)	【DPS事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ IS29 パイロットユーザーへの納入(日本、中国、アメリカ) ・ IS29 販売/サービス体制整備 ・ TruepressJet520 米国、欧州での販売開始 	【DPS事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ IS29の拡販 中核市場での販売 ・ IS29ストック事業の体制整備(インキ、保守契約等ストックビジネスモデルの収益化) 	【DPS事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ IS29の拡販 海外全市場での販売展開 ・ NS40β機開発完了 ・ DPS/PESP事業の体制整備 収益化モデルの実現
	【証券印刷機事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア、欧米各国からの大型ライン受注 ・ CURRENCYSolution2016の成功 ・ 戦略機種のシリーズ化完了 	【証券印刷機事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要商談の受注(大型ライン商談、単体入札商談) ・ 証印のPESP事業展開 	【証券印刷機事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要商談の受注(大型ライン商談、単体入札商談) ・ 新たな商品企画 ・ 証印PESP事業の事業拡大
	【PE/精密機械事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ エンジニアリング事業の体制強化 ・ 国内/海外販売体制の強化 ・ 戦略機の開発完了(電子部品) 	【PE/精密機械事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略機の本格的な拡販 ・ 海外事業の拡大(チャンネル拡大、KKCとのシナジー) ・ 電子製版事業の事業化 	【PE/精密機械事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内、海外の生産体制の整備強化 ・ 製版、資材販売強化 ・ オープンイノベーションの推進
営業業態変革 (PESP事業化)	国内PESP事業の販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内K-INK販売の事業化 ・ 断裁機、打抜機の拡販 ・ K P-Connectの国内展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機材ビジネス商品開発の推進 ・ K-INKの海外体制確立 ・ アカウント管理強化 	ICT-Solution拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ KP-ConnectとPre-Press / Post-pressの他社との連携強化 海外PESP事業の販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ K-INKの海外展開の推進 ・ KP-Connectの海外展開の推進

◆オフセット印刷機事業

- ・日本、中国、インド・ASEANの重点市場に市場要望の高い新商品（GL37）と高付加価値提案を強化し販売拡大を狙う（新商品拡販、販売チャネル強化）

2018年3月期の成果

▶戦略製品の拡販

- ・H-UV機販売実績992台(2018年3月末)
- ・GLX40(44)RPの拡販
- ・中国向け戦略機の拡販

▶インド市場における販売体制構築

- ・直販体制(PESPを含む事業再構築)

LITHRONE GX40RP Next Generation **NEW**

タッチポイントを削減し、省力化要求を最大限サポートする次世代印刷機



2019年3月期の重要施策

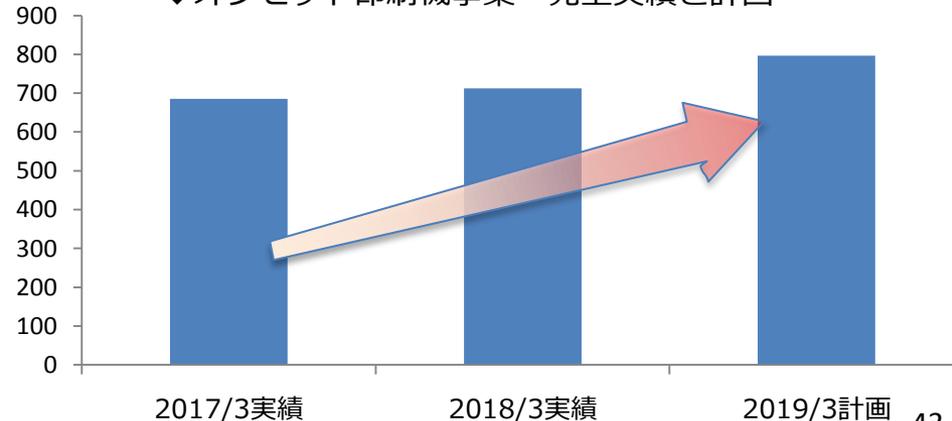
▶IGAS2018 Pre/Post IGAS開催

- ・GL37（汎用機）のシリーズ化完了
- ・GLX40(高速/高グレード機) シリーズ化完了
- ・次世代IOTシステム(Smart Production)投入

▶日本、中国、インド、ASEAN諸国販売力強化(新商品/PESP商品拡販)

(億円)

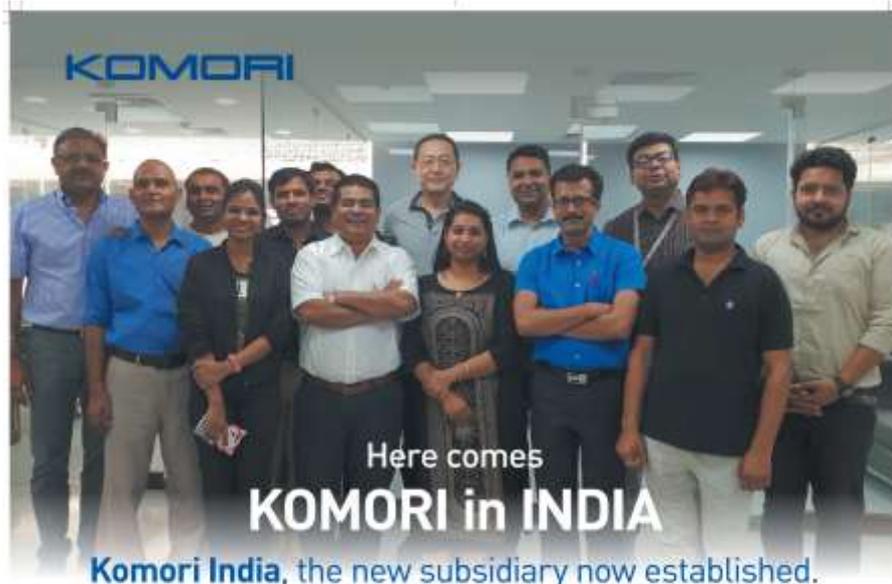
◆オフセット印刷機事業 売上実績と計画



- ◆ 中華圏の拡販強化と高付加価値機の積極的な導入
- ◆ インド現地法人(KND)の設立（成長市場対策）
- ◆ ASEAN諸国の販売力強化とGL37市場投入

▶ コモリ・インディア・プライベート・リミテッド（KND）設立

▶ ASEAN諸国向け戦略機種種の拡販



With the establishment of Komori India, factory engineers will be stationed at this subsidiary. This means we as a manufacturer will support Japanese-level quality directly. By this huge boost to our capabilities, we will provide great value to customers in operation, quality and factory management. We aim to maximize the benefit to the customer.

Hirofumi Hoshino, President of Komori India



◆DPS事業

DPS商品コンセプト⇒バリエブル印刷、高い印刷品質、全ての用紙に印刷可能

- ・お客様の求めるビジネスモデルの提案
- ・小森DPS機の差別化技術の提案
- ・菊半、菊全インキジェット機のラインアップ完成

2018年3月期の成果

- ▶展示会（China Print, PRINT17）
内覧会等から商談件数の増加
- ▶ターゲットユーザーへの搬入完了
 - ・国内、米国、欧州、中華圏のユーザーから
高い評価を獲得

2019年3月期の重要施策

- ▶国内及び主要国での拡販強化
 - ・ビジネスモデル開発
 - ・KP-Connect連携、差別化技術
- ▶NS40βテスト機納入、量産化開始
(2019年市場導入目標)

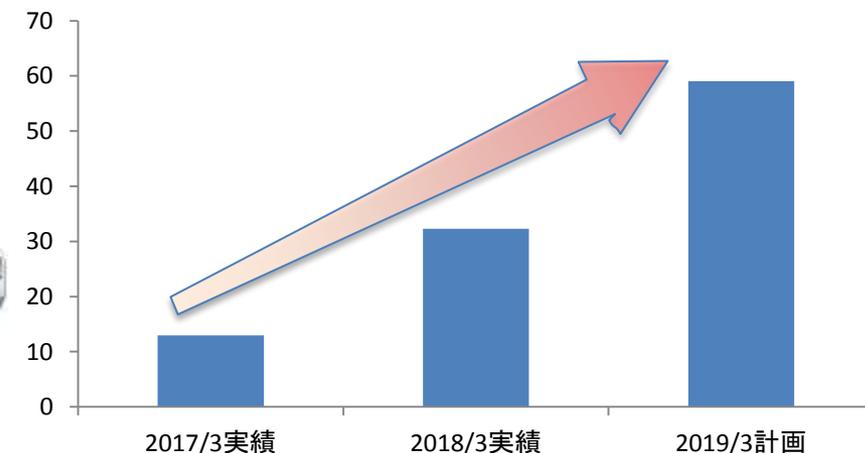
IS29米国印刷工業会（PIA）
インターテック技術賞
2017受賞



Impremia NS40



◆DPS事業 売上実績と計画



◆証券印刷機事業

- ・納入機の高い評価を獲得/アジア諸国を中心に受注を拡大の好機（商談は活発）
- ・CURRENCY ON Demand推進(生産効率向上、銀行券デザインの進化=偽造防止)
商品性能、新技術の導入等「証券印刷機システム」を一新（販促強化）

2018年3月期までの成果

- ▶ CURRENCY ON Demand の実演
 - ・商談会の成功(「番号+コーター」機)
- ▶ 受注機の円滑な検収完了
- ▶ 新英国ポンド紙幣 £ 10の印刷開始
新 £ 20 紙幣の流通決定



Topics : 英国銀行（2018年1月5日発表）

2019年3月期の重要施策

- ▶ 重要商談の受注獲得
(大型ライン商談、単体入札商談)

NV532
「番号+コーターワンパス印刷機」



オフセット印刷機



凹版印刷機

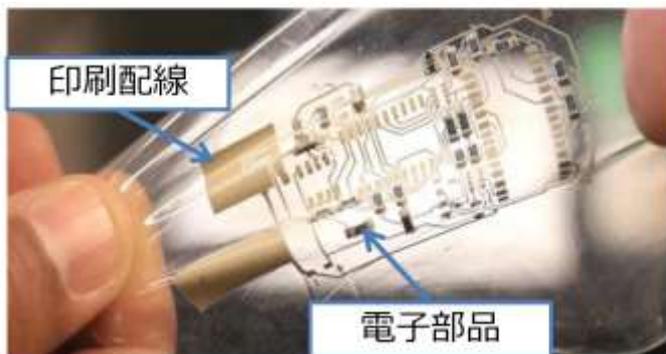


◆PE・精密機器事業

- ・活況な電子部品、半導体業界などをターゲットにした新機種およびセリアの強み（エンジニアリング力と対応力）を訴求し拡販を図る

2018年3月期までの成果

- ▶国内重要顧客からの受注獲得
- ▶戦略商品（差別化商品）の市場投入開始
 - ・カメラ付き半自動真空穴埋め装置（PCB業界）
 - ・縦型両面印刷機（PCB業界）
- ▶米国家プロジェクト「NextFlex」へ参画
- ▶東大発ベンチャー「パイクリスタル社」へ出資

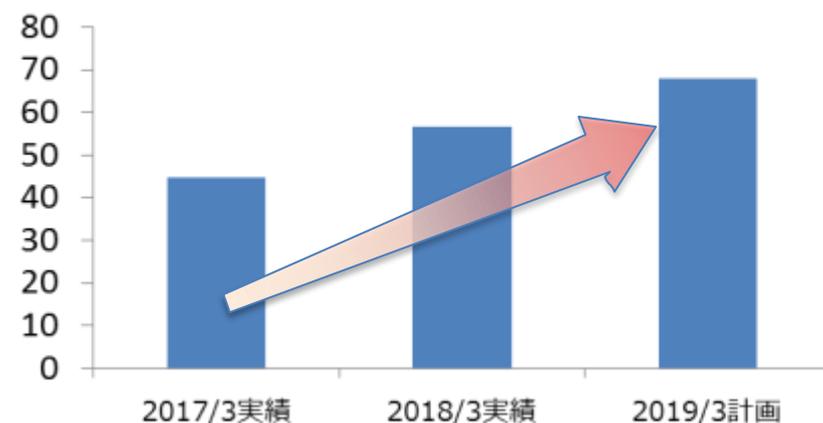


◆FHE技術（フレキシブル・ハイブリッド・エレクトロニクス）

2019年3月期の重要施策

- ▶海外事業の事業拡大
 - ・中華圏の拡販体制構築
 - ・アジア市場向けコスト競争力強化
- ▶生産対応力の強化
 - ・国内、海外の生産体制を整備強化
- ▶産業界、大学、研究機関との連携強化しオープンイノベーションを加速

(億円) ◆PE・精密機器事業 売上実績と計画



◆PESP事業

- ・国内の計画工事及びインキ販売が計画通り推移し着実に拡大
- ・KP-Connectを基軸とした、KOMORIのICT Solutionの推進

2018年3月期までの成果

▶国内PESP事業の販売強化

- ・計画工事/K-INK販売拡大
- ・KP-Connect拡大(約170台と接続)

▶機材ビジネス拡大(商品開発)

- ・ハイエンド断裁機システム
- ・打ち抜き機
- ・ブランカー 等



Apressia CTX115
(高速高精度断裁機)



Apressia MB110E
(ブランカー【カス取り】)

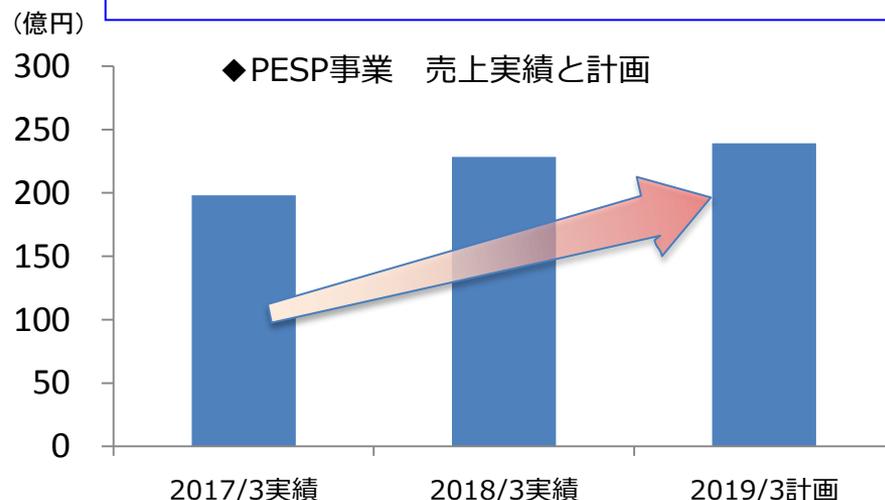


Euclid II+
(レーザーダイカット)



K-Supply Series
(H-UVインキ)

2019年3月期の重要施策



▶海外PESP事業の販売強化

- ・K-INKの海外展開の推進
- ・KP-Connectの海外展開の推進

▶ICT-Solution拡大

- ・KP-ConnectとPre-press/Post-pressの他社との連携強化

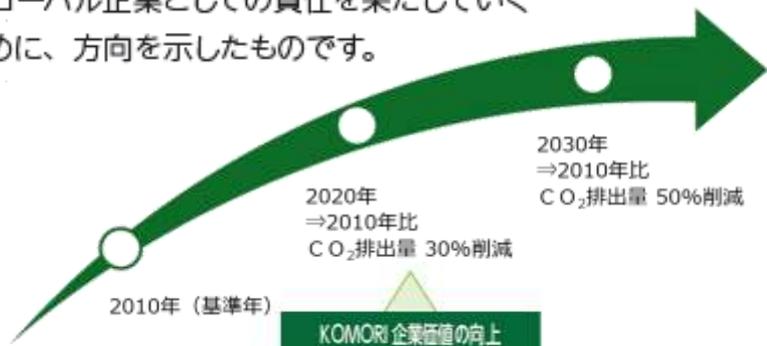
グリーンプロジェクト

目標：2020年に100位以内を
前倒しで達成

KOMORI エコビジョン 2030 (長期目標)

KOMORI グループは、長期環境ビジョン「KOMORI エコビジョン 2030」を策定しました。このビジョンは、地球温暖化防止、循環型社会への対応、生物多様性を柱として、持続可能な地球・社会の実現に貢献し、グローバル企業としての責任を果たしていくために、方向を示したものです。

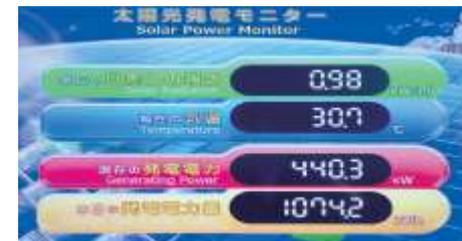
- ・地球温暖化防止
- ・循環型社会への対応修正
- ・生物多様性対応 (科学物質リスク低減)



◆当社における環境の取り組みの具体例

▶無電極照明の採用による省エネの推進

▶太陽光発電



イベントタイトル

IGAS 2018 (International Graphic Arts Show 2018)

主催

一般社団法人日本印刷産業機械工業会 (JPMA)
プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会

開催期間

2018年7月26日(木)～31日(火) 6日間

開場時間

10:00～17:00 (開催日のみ11:00～17:00)

会場

東京ビッグサイト 東展示棟 (1～6ホール)
〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1

展示場面積/出展面積 (予定)

約51,000m / 約24,000m² (前回並み)

テーマ : Innovate to Create

KOMORIは、印刷会社のIOTを支援し生産効率の最大化とクリエイティブな領域への人財のシフトを目指します。

◆スマートプロダクション

GLX-840RP(菊全判両面専用4/4色機)



◆スーパーショートメイクレディ【パッケージ印刷仕様】

GLX-640+C(菊全判6色+コーター機)



◆A全サイズ出版業界ジャストサイズ印刷機

GL-837P(A全判反転機構付)



◆B2サイズ両面UVインクジェット印刷機

Impremia IS29 (B2 UVインクジェット)





- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。